

常任委員会

環境産業常任委員会行政視察報告

環境産業常任委員会では、8月17日・18日の2日間にわたり行政視察を行いました。

初日には、長野県小布施町で「小布施ブランドの育成および農業の6次産業化への取り組み」について視察を行い、商品の高級志向および他地域との差別化を図り、販売ルートのさらなる拡大により小布施ブランドの向上を図っていききたいとの説明を受けました。

翌18日には、福井県あわら市で、「一般社団法人化した観光協会の運営」および「金津本陣にぎわいづくりプロジェクト」

について視察を行いました。観光協会では、法人化のメリットを生かして今後も収益性の高い事業へ取り組み、観光客を呼び込んでいきたいとの説明を受けました。また、駅前交流拠点である「aキューブ」を見学し、本陣飾り物を活用した街なかへの誘客及びにぎわいづくりについて説明を受けました。

ひろば」について視察を行いました。平成7年から公民館事業と福祉サービスを融合させた福祉ひろばを、市内全35地区に開設しており、各ひろばの運営は地域住民が主体となり、地域の実情に合ったメニューを企画しているとの説明を受けました。両日とも情報交換や質疑を行い、先進事例の研究を行いました。



小布施町6次産業センター

市民福祉常任委員会行政視察報告

市民福祉常任委員会では、8月17日・18日の2日間にわたり行政視察を行いました。

初日には、富山県富山市で、「市民活動活性化の取り組み」について視察を行いました。「富山市地域生活応援団設立事業」は、日常的に買い物困難な方々のため、買い物支援サービスを行う地域団体を支援するもので、市民活動の支援という視点で取り組まれていました。その他にも、富山市公募提案型協働事業の説明も受けました。

翌18日には、長野県松本市で、「福祉



富山市での視察

特別委員会

地方創生調査特別委員会行政視察報告

地方創生調査特別委員会では、8月9日・10日の2日間にわたり行政視察を行いました。

初日には、宮城県仙台市で「スポーツコミッションせんだい」について視察を行いました。仙台市では本コミッションを通じて、スポーツイベントの誘致と開催支援による交流人口の拡大およびスポーツボランティアの育成を図ることにより、街の活性化に取り組んでいると説明を受けました。

翌10日は、山形県上山市で、「蔵王坊平アスリートヴィレッジ」について視察

を行いました。同施設は、文部科学省からナショナルトレーニングセンター高地トレーニング強化拠点施設に指定されており、次回の東京オリンピック開催に当たって、山形県と協力して、ポラード代表陸上チームのキャンプ地誘致に向けて取り組んでいるとの説明を受けました。両日とも情報交換や質疑を行い、先進事例の研究を行いました。

に実施しており、市民に開かれた議会とするための一つの手段として、今後も継続して実施していききたいとのことでした。その他にも、さまざまな改革実績についての説明を受けました。両日とも情報交換や質疑を行い、先進事例の研究を行いました。



仙台市での視察

議会改革特別委員会行政視察報告

議会改革特別委員会では、8月24日・25日の2日間にわたり行政視察を行いました。

初日には、愛知県犬山市で、「議会改革」について視察を行いました。情報公開の取り組みや、議会からの情報発信、議員間討議の活発化、正副議長選での所信表明の導入等さまざまな分野における改革実績についての説明を受けました。

翌18日には、京都府綾部市で、「日曜議会の取り組み」について視察を行いました。平成11年から、毎年3月定例会において、会派ごとの代表質問を、日曜日



犬山市での視察